

K_{ofu} J_{osai}

第13号

甲府城西高校通信

山梨県初の総合学科高校、
夢をかなえる8系列、
好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君、
一緒に学んでみませんか？
私たちのこと、知ってほしくて作りました。
甲府城西高校の広報誌「KJ」です。

特集 学校行事

ご愛読ありがとうございます。
読者から「学校行事」を知りたいという声がありました。
そこで、今回は一大イベントである夏の「希城祭」と、
秋の「体育祭」を紹介します。

甲府城西高校の今を伝えるKJ通信です。

体育祭

競技種目

- 障害物リレー
- クラス全員綱引き
- 部対抗リレー
- 棒取り
- リレー



We LOVE 体育祭

体育祭の前、一年次の私たちのクラスは、一人一人の個性が強くとまるのが難しいと思っていました。しかし、「We Love 大沢」の掛け声の下、クラスがまとまることができました。

しかも一年次で全種目一位でした。このことは、掛け声でクラス全体が心を一つにして、あきらめずにかんはることができたからだと思います。いろいろあったけれどもそれを含めていい思い出になりました。最後に「大沢委員長ありがとう！」

田中 愛華(田富中)

いち 系列一押し資格・検定その1

■メカトロニクス系列

車両系建設機械運転技能講習
(厚生労働省) **大型ブルドーザー運転可!**

■エレクトロニクス系列

第一種・第二種電気工事士
(経済産業省・電気技術者試験センター)
電気工事店経営で自立もできる!

■ビジネス会計系列・情報管理系列

情報処理検定1級ビジネス情報部門
(全国商業高等学校協会)
どこでも頼られるエクセル使い人!

■福祉生活科学系列

食物調理技術検定1級
(全国高等学校家庭科教育振興会)
自分で献立作り!しかもフルコース!

■人文社会系列

漢字検定 (日本漢字能力検定協会)
実用英語技能検定 (日本英語検定協会)
上位級合格で推薦有利!



新生徒会の仕事

九月の生徒会役員選挙で選ばれた私たち新生徒会の初仕事は、体育祭でした。「私たちが楽しまなきゃ、生徒も楽しむことが出来ない」と心に刻みながら体育祭を迎えました。体育祭が無事成功し、安堵していた時に、たくさんの生徒が「楽しかったよ。おつかれさま。」と声をかけてくれました。体育祭を通して「生徒会のやりがい」を感じることができ、生徒会役員一人一人が成長することができてよかったです。

生徒会長 近藤 雪乃(城南中)

高校最後の体育祭

私たち三年次は、高校生活でクラス一丸となつて取り組む最後の行事ということもあり、二年次、一年次と共に、熱い戦いを繰り広げていた。土まみれになりながらも高々と拳(こぶし)を上げ仲間と喜び合ったり、励まし合ったりと、クラスが一体となつて取り組んでいる姿が見受けられた。その甲斐あり私のクラスは、体育祭で総合優勝することができて本当によかった。最後の年にクラスの仲間と喜びや感動を分かち合えたことが何よりもうれしかった。

浅川 竜也(押原中)



スポーツの秋

毎年十月中旬が体育祭です。今年は十月十三日に一日使つての行事として行われました。本校では七月初頭の学園祭「希城祭」の中でなく、秋のこの時期に独立して実施しています。

当日曇天は残念でしたが、暑くも寒くもなく、絶好のスポーツ日和で、生徒の熱気でグラウンドはポカポカでした。

競技は、基本的に年次別でのクラス対抗戦です。昨年度から、お昼に「部対抗リレー」が行われ、真面目にタイムを競う部、ユニホームや道具を身に付けパフォーマンスを重視した部などで、恒例競技になりそうです。

三年次リレー決勝に参加した先生チームにもケガもなく、秋の一日を気持ちよく過ごすことができました。

夢のような一瞬

私達の学園祭「希城祭」は今年度のテーマを「夢のような一瞬」として、二日間にあつて開催されました。各クラスが一丸となつて発表を行うステージは、今年から合唱に変更となつた一年次を含め、全年度とも完成度が高く、クラスの団結が感じられるものでした。

クイズやミニゲームで競い合うクラスバトルやバンド発表・ミニステージなどの自由参加企画では、参加者も観客も一緒に楽しんでいて、大盛況でした。また、各クラスや部活動の展示などもそれぞれ工夫がなされており、生徒はもちろん来校者も足を止めて見学していました。

全校生徒でつくりあげた「希城祭」は、反省点もあつたものの、今年も成功を収めることができたと思自負しています。当日まで何度も練習を重ねたり、懸命に準備をしたりと、大変なこともありましたが、それら全てが楽しい思い出となることでしょうか。今年度の希城祭が、全校生徒一人一人にとつてかけがえない「夢のような一瞬」となつていたらなら、とても嬉しく思います。

前生徒会長 千野 ひかる(敷島中)



第15回 希城祭

トキ
夢のような一瞬
~Best on stage~

仲間と創る

一年次のクラスアートは、「再生可能エネルギー」をテーマに作成したステンドグラスでした。「写真右」。二年次は壁新聞「写真右」を、そして三年次は、教室全体を使つて全国のお祭りを再現しました。他にも、学校入口を飾るアーチや、クラス紹介、文化部のステージ発表や展示、先生方の似顔絵「写真下」など、ステージのほかにも見所一杯の学園祭です。



上の写真は、三年次雨宮千夏さんによる学園祭ポスターの原画です。ポスターのアイデアは半年前から募集し、ポスターのほか、全校生徒に配られる団扇やステージ飾りにも使用されました。また、大きな展示として、全校生徒で作成した壁画などがありました。



希城祭日程

1日目 6月30日(木)

9	10	11	12	13	14	15	16
点呼 体育館	開祭式	演劇部発表 つなぎ1	クラス ステージ 1年次	昼休み ・クラスバトル(予選) ・自由参加企画 ・茶道部お茶会		クラス ステージ 2年次	点呼 清掃 下校

2日目 7月1日(金)

9	10	11	12	13	14	15	16
点呼 体育館	吹奏楽部発表会 つなぎ3	合唱同好会発表	クラス バトル(決勝) 3年次	昼休み ・展示見学 ・模擬店 ・ライブ ・バザー ・インターアクト募金活動		集合 点呼 閉祭式	清掃 片付け SHR

一生の思い出

私が学園祭の実行委員長に選ばれたのは明るくて元気な性格のおかげだと思います。そこで、「開祭宣言」では、自分の性格を生かして場を盛り上げよう、全校生徒の気持ちを高めようという気持ちで臨みました。

こうして始まった、三年、最後の学園祭。生徒会学園祭実行委員、そして各クラスの一人一人の協力によって、本当に一生思い出に残る学園祭になりました。毎年、テーマを変えて行なわれる学園祭。来年はまた新たなテーマのもと、一味違った学園祭が開催されることでしょうか。後輩の皆さんも、是非、一生の思い出となる素晴らしい「希城祭」を作り上げてください。

そして次の実行委員長には、私を上回る「面白い」委員長の登場を期待しています!

学園祭実行委員長 鱧池 友香(甲府北中)



甲府城西高等学校から、鬼山美佳さん(アーチェリー)小澤楓さん(ライフル射撃)佐久間亮くん(サッカー)の3名が国体に出場し、優秀な成績を収めてきました。みなさんの今後の活躍を応援します。

みなさんに感謝しています



鬼山 美佳さん
(敷島中学校出身)

アーチェリー 少年女子個人二位 団体優勝を果たしました

二十五年ぶりに山梨県少年女子が優勝することができました。国体に行く前は、私がチームを引っ張ることが出来るか不安がありました。私を信頼してくれるチームメイトのためにもがんばろうと思いました。そこから山梨県のチームワークができてきたと思います。

予選を一位で通過し、トーナメントを勝ち進み、決勝の舞台に立ちました。とても緊張しましたが、自分たちで声をかけ合い、集中して攻めていくことができました。私が一番手なので、良い点をつけ、チームの雰囲気とリズムを作ろうと思いました。そのときは、不安はなく、わくわくして、アーチェリーを純粹に楽しめていたと思います。

一位になった瞬間は、自然と周りに感謝をしていました。とても良い経験になりました。

これから、オリンピックを目指し、さらに技術面、精神面ともに磨いていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

念願の国体入賞



小澤 楓さん
(上条中学校出身)

ライフル射撃 国体入賞

私が射撃と出会ったのは、オープンキャンパスにきた、中学3年生の夏でした。その時に、「また撃ちたい」と思ったのがライフル射撃を始めたいきっかけです。

入学して以来「国体出場」を目標に、ルールや姿勢、銃の扱い方などの基本を覚えました。そして、関東大会、JOCジュニアオリンピックカップなど、様々な大会に出場して好成績を収め、3年生になった今年、ついに目標としていた国体に出場することができました。

国体では、それまでの高校生の大会とは違い、社会人の方も出場しており、選手がこの大会にかける気迫がひしひしと伝わってきました。

出場した2種目で入賞することができました。他県の選手と話すこともたくさんあり、そこから学ばされることも何度もありました。

大学進学後も射撃を続け、高校での経験を生かして大学でも良い結果を残せるように、一生懸命練習に取り組んで行きたいと思っています。

サッカー少年男子一回戦・二回戦と出場

私は、国体に少年男子山梨県代表として出場しました。一回戦は福島に2-0で勝ち、二回戦は優勝した千葉に0-3で負けました。とても強いチームで、刺激を受けました。国体での経験をこれからの将来に生かしていきたいと思っています。

一年次 佐久間 亮 (甲府北西中)

一緒に演奏しませんか?



吹奏楽部部长 工藤 紗希 (敷島中)

今後も聴いてくださる方々の心に伝わる音楽が演奏できるように日々練習に励んでいきたいと思っています。

吹奏楽部 演奏チャンス増加

私たち吹奏楽部の主な活動は、八月の吹奏楽コンクール、十一月の芸術文化祭、校内の学園祭、野球応援、壮行会での行進曲演奏などです。

三年生引退後、部員数は少なくなりましたが、卒業生とのジョイントコンサートや盲学校学園祭での交流演奏といういろいろな場で演奏する機会を得ることができました。発表の場があるということは、音楽活動には何よりありがたいことだと思います。



information

- 入試日程
 - 前期入試 2月1日(水)・2日(木)
 - 後期入試 3月7日(水)
- 冬季休業 12月26日(月)~1月6日(金)
- 卒業証書授与式 3月1日(木)
- 後期期末試験 3月2日(金)~3月9日(金)
- 表紙 体育館

Kj通信

発行 山梨県立甲府城西高等学校
山梨県甲府市下飯田一丁目9-1 〒400-0064
TEL 055-223-3101 FAX 055-223-3103
URL <http://www.josaih.kai.ed.jp/>
Mail josaih@kai.ed.jp

発行日 平成23年11月29日

We love Josai.

